

京都大学人文科学研究所共同研究実績・活動報告書

(5 年計画の 5 年目)

1. 研究課題

北朝石窟寺院の研究

Studies on the Buddhist Cave-temples in the Northern Dynasties

2. 研究代表者氏名

岡村秀典

Hidenori OKAMURA

3. 研究期間

2015 年 04 月 - 2020 年 03 月 (5 年度目)

4. 研究目的

中国山西省にある雲岡石窟は、5 世紀の北魏時代に開鑿の始まった仏教寺院である。1938 年から 1944 年までの 7 年間、人文研の水野清一と長廣敏雄らは、その大小すべての石窟を対象に測量・写真撮影・拓本を作成し、戦後にその報告書『雲岡石窟』全 16 巻 32 冊を公刊した。その PDF を京都大学リポジトリに公開した結果、各界から大きな反響が寄せられ、なかでも中国から中国語版の出版について打診があり、人文研と中国社会科学院考古研究所との共同編集により旧版の中文訳に加えて旧版未収録の写真・拓本類を増補した『雲岡石窟』全 20 巻を出版しつつある。これをふまえて本研究班では、龍門石窟や響堂山石窟など北朝石窟にかんする人文研所蔵写真・拓本類の整理と公開を継続して進める。

The Yungang Caves, located near the city of Datong in Shanxi province in China, are a group of Buddhist cave-temples excavated in the latter half of the fifth century by the Northern Wei dynasty. Between 1938 and 1944, following on from investigations of the Xiangtangshan Caves in Hebei province and the Longmen Caves in Henan province, the Research Institute of Oriental Culture, the predecessor of the Institute for Research in Humanities, Kyoto University, carried out investigations of the Yungang Caves and neighboring sites. A report of these investigations was published in the form of the voluminous Yunkang (1951-1956) in 16 volumes and 32 fascicules by Mizuno Seiichi and Nagahiro Toshio. This research seminar set about researching on the visual materials and field notes collected from such investigations with the goal of systematically digitizing and

actively promoting the further use of these research resources, and making them available to the public.

5. 本年度の研究実施状況

水野清一・長廣敏雄『雲岡石窟』(全 16 巻 32 冊、1951～1956 年)図版解説の会読を隔週で実施し、本年度は第 19A・第 19B 洞・第 20 洞を検討した。その成果論文としては 2019 年の『東方学報』京都第 94 冊に向井佑介「北魏興安二年舍利石函の図像学」、稲本泰生「ボードガヤー出土の 10～11 世紀漢文石刻資料と訪天僧の奉獻品」が公刊された。また、水野清一・長廣敏雄『龍門石窟の研究』(座右宝刊行会、1941 年)の中国語版を中国鄭州の大象出版社から出版する準備を進め、本学との間で出版契約を締結したほか、岡村秀典『雲岡石窟の考古学』(臨川書店、2017 年)の中国語版について四川人民出版社との間で出版契約を締結し、2020 年の刊行をめざしている。東京大学東洋文化研究所と協力して 100 年前の中国石窟写真を集大成した『中国文化遺産』石窟巻(中国語版全5巻)の執筆・翻訳と編集を進め、2020 年に清華大学出版社から刊行する予定である。

6. 研究成果の概要

最終報告書に記載

7. 本年度の研究実施内容

2019-04-16 雲岡石窟第十九 A 洞 発表者 黄 盼 京都府立大学

2019-04-30 ブッダガヤー出土の漢文石刻史料と宋代仏教美術—コルカタ・インド博物館所蔵品調査をふまえて 発表者 稲本泰生

中国南北朝時代の仏塔と舍利埋納 発表者 向井佑介

2019-05-07 雲岡石窟第十九 A 洞 発表者 黄 盼 京都府立大学

2019-05-21 雲岡石窟第十九 A 洞 発表者 黄 盼 京都府立大学

2019-06-04 雲岡石窟第十九 A 洞 発表者 黄 盼 京都府立大学

2019-07-02 雲岡石窟第十九 A 洞・第十九 B 洞 発表者 黄 盼 京都府立大学

2019-07-16 雲岡石窟第十九 B 洞 発表者 黄 盼 京都府立大学

2019-10-01 雲岡石窟第十九 B 洞 発表者 岡村秀典

2019-11-05 雲岡石窟第十九 B 洞 発表者 岡村秀典

2019-11-19 雲岡石窟第二十洞 発表者 岡村秀典

2019-12-03 雲岡石窟第二十洞 発表者 折山桂子 京大・文 DC

8. 共同研究会に関連した公表実績

東方学報、94 冊、2019 年 12 月

9. 研究班員

所内

安岡孝一、稲本泰生、向井佑介、檜山智美、倉本尚徳

学内

内記理(文化財総合研究センター)、折山桂子(文学研究科)、常鈺熙(人文科学研究所)

学外

高橋早紀子(愛知学院大学)、外山潔(泉屋博古館)、齋藤龍一(大阪市立美術館)、山名伸生(京都精華大学)、大西磨希子(佛教大学)、石松日奈子(清泉女子大学)、濱田瑞美(横浜美術大学)、佐藤智水(龍谷大学)、田林 啓(白鶴美術館)、上枝いづみ(金沢大学)、高志緑(大阪大学)、玉珏人(大阪大学)

10. 共同利用・共同研究の参加状況

区分	機関数	参加人数				延べ人数			
		総計	外国人	大学院生	若手研究者	総計	外国人	大学院生	若手研究者
所内	0	5 (1)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	44 (36)	22 (22)	14 (14)	14 (14)
学内	0	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
国立大学	3	0 (0)	0 (0)	3 (3)	1 (1)	33 (33)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
公立大学	1	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
私立大学	7	7 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大学共同利用機関法人	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
独立行政法人等公的研究機関	0	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
民間機関	1	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
外国機関	1	1	0	0	0	2	0	0	0

		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
その他	1	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	14	16 (5)	2 (2)	6 (6)	4 (4)	98 (73)	22 (22)	14 (14)	14 (14)

※()内には、女性数を記載

11. 本年度 共同利用・共同研究を活用して発表された論文数

参加研究者がファーストオーサーであるものを対象

総論文数	3(0)
国際学術誌に掲載された論文数	0(0)

※()内には、拠点外の研究者による成果(内数)を記載

高いインパクトファクターを持つ雑誌等に掲載された場合

掲載雑誌	掲載論文数	主なもの	
		論文名	発表者名
東方学報、94 冊	3	北魏興安二年舍利石函の図像学	向井佑介

※拠点外の研究者については、発表者名にアンダーラインを付す

12. 費目の 30%を超える大幅な変更があった場合の変更理由

なし

13. 次年度の研究実施計画

なし

14. 研究成果公表計画および今後の展開等

研究成果公表計画および今後の展開等 水野清一・長廣敏雄『龍門石窟の研究』(座右宝刊行会、1941 年)の中国語版を中国鄭州の大象出版社から出版する準備を進め、本学との間で出版契約を締結したほか、岡村秀典『雲岡石窟の考古学』(臨川書店、2017 年)の中国語版について四川人民出版社との間で出版契約を締結し、2020 年の刊行をめざしている。

東京大学東洋文化研究所と協力して 100 年前の中国石窟写真を集大成した『中国文化遺産』石窟卷(中国語版全5巻)の執筆・翻訳と編集を進め、2020 年に清華大学出版社から刊行する予定である。

